

**製品名: PA26 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15675**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SESN1
別名	SESN1; PA26; SEST1; Sestrin-1; p53-regulated protein PA26
遺伝子 ID	27244.0
SwissProt ID	Q9Y6P5
免疫原	抗血清はヒト SESN1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

**背景**

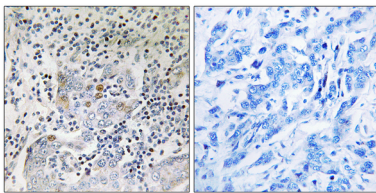
この遺伝子はセストリンファミリーのメンバーをコードしています。セストリンは p53 腫瘍抑制タンパク質によって誘導され、DNA 損傷および酸化ストレスに対する細胞応答において役割を果たします。コードされているタンパク質は、AMP 活性化プロテインキ

ナーゼを活性化することにより p53 による細胞増殖阻害を媒介し、その結果、哺乳類ラパマイシン標的タンパク質の阻害を引き起こします。コードされているタンパク質はまた、過剰酸化されたペルオキシレドキシンの再生による抗酸化防御においても重要な役割を果たしており、この遺伝子の発現は放射線被曝の潜在的なマーカーとなります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2010年12月]、疾患：SESN1 の欠陥は異位走性に関与している可能性があります。左右軸異常症は、左右軸形成の異常によって引き起こされる病的に不均一な状態であり、1つまたは複数の器官系で左右極性の逆転が生じる。機能：ペルオキシレドキシンの還元に関与する。細胞増殖の調節因子となる可能性もある。誘導：アイソフォーム T2 およびアイソフォーム T3 は、遺伝毒性ストレス（紫外線、ガンマ線照射、細胞傷害性薬剤）によって p53 依存的に誘導される。アイソフォーム T1 は p53 によって誘導されない。PTM：DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性：セストリンファミリーに属する。組織特異性：広く発現している。

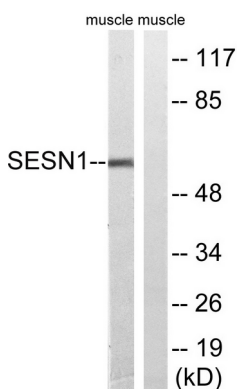
## 研究分野

p53;

## 画像データ



SESN1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



SESN1 抗体を用いたラット筋細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。